

全日本空輸株式会社 2008年3月期第1四半期 決算説明会



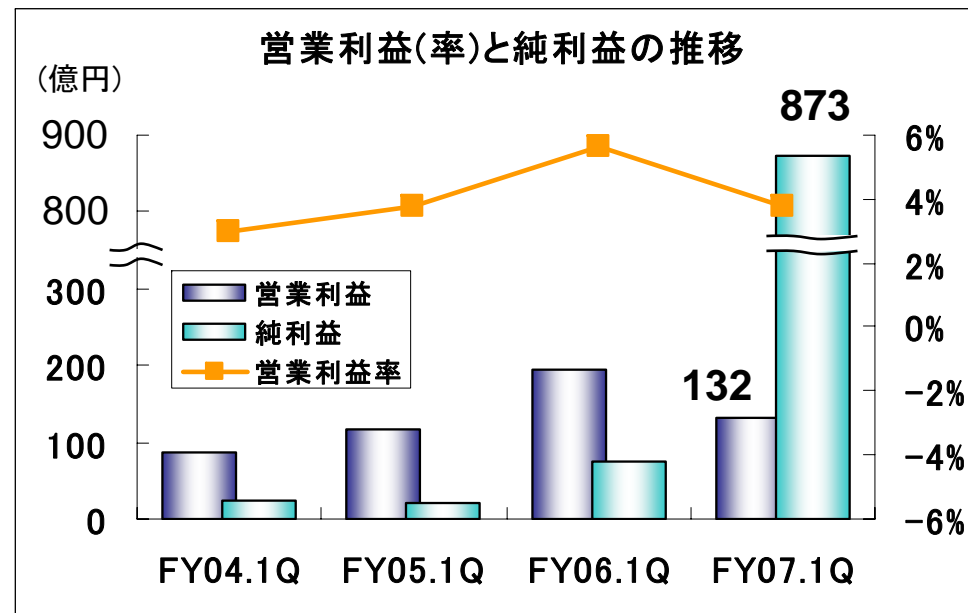
2007年7月31日

I. 2008年3月期第1四半期決算概要	<i>Results for FY07 1Q</i>	P.4-7
(1) 連結決算概要	<i>Consolidated Financial Summary</i>	
(2) セグメント別実績	<i>Results by Segment</i>	
II. 航空運送事業	<i>Air Transportation</i>	P.8-16
(1) 航空運送事業	<i>Air Transportation Overall</i>	
(2) 収入・費用増減要因	<i>Breakdown of revenue and cost deviation</i>	
(3) 旅客事業 (国内旅客・国際旅客)	<i>Passenger Operations (Dom./Int.)</i>	
(4) 貨物事業	<i>Cargo Operations</i>	
III. 燃料・為替ヘッジ	<i>Fuel and Currency Hedging</i>	P.17
IV. 補足資料	<i>Supplementary Reference</i>	P. 18-24

当資料は、弊社の現在の計画、見積り、戦略、確信に基づく見通しについての記述がありますが、歴史的な事実でないものは、全て将来の業績に関わる見通しです。これらは現在入手可能な情報から得られた弊社の判断及び仮説に基づいています。弊社の主要事業である航空運送事業には、空港使用料、燃料費等、弊社の経営努力では管理不可能な公的負担コストが伴います。また、弊社が事業活動を行っている市場は状況変化が激しく、技術、需要、価格、経済環境の動向、外国為替レートの変動、その他多くの要因により急激な変化が発生する可能性があります。これらのリスクと不確実性のために、将来における弊社の業績は当資料に記述された内容と大きく異なる可能性があります。従って、弊社が設定した目標は、全て実現することを保証しているものではありません。

業績ハイライト *Financial Review FY07 1Q*

- 営業収入3,496億円 (対前年+43億円)、営業利益132億円 (同-63億円)
- ホテル事業譲渡益により過去最高の純利益873億円 (同+796億円)
- オフバランスリース債務を含むD/Eレシオは2.0倍まで改善
- 通期業績予想は変更なし



(1) 連結決算概要 *Consolidated Financial Summary*◇ 経営成績 *Income Statements*

	前年同期 Apr-Jun/2006	当第1四半期 Apr-Jun/2007	増減 Change
営業収入 Operating Revenues	3,452	3,496	+43
営業費用 Operating Expenses	3,256	3,363	+107
営業利益 Operating Income	195	132	△63
営業利益率 Op. Margin (%)	5.7	3.8	△1.9
営業外損益 Non-Op. Gains/Losses	△50	△64	△13
経常利益 Recurring Income	144	68	△76
特別損益 Extraordinary Gains/Losses	△9	1,323	+1,333
当四半期純利益 Net Income	76	873	+796
EBITDA*	383	352	△31
EBITDAマージン EBITDA Margin (%)	11.1	10.1	△1.0

◇財政状態 *Consolidated Balance Sheets*

	前年度末 Mar.31, 2007	当第1四半期末 Jun.30, 2007	増減 Change
総資産 Assets	16,020	17,010	+989
自己資本 Shareholders' Equity	3,982	5,020	+1,037
自己資本比率 (%) Ratio of Shareholders' Equity (%)	24.9	29.5	+4.7
有利子負債残高 Interest Bearing Debts	7,494	6,713	△781
オフバランスリース債務含 including off balance lease obligation	11,000	10,094	△906
D/Eレシオ (倍) Debt/Equity Ratio (times)	1.9	1.3	△0.5
オフバランスリース債務含 including off balance lease obligation	2.8	2.0	△0.8

単位: 億円 (¥100Million)

◇ 連結キャッシュフロー概要

Consolidated Summary of Cash Flow

	前年同期 Apr-Jun/2006	当第1四半期 Apr-Jun/2007	増減 Change
営業キャッシュフロー Cash Flow from Operating Activities	173	310	+136
投資キャッシュフロー Cash Flow from Investing Activities	△498	2,030	+2,529
財務キャッシュフロー Cash Flow from Financing Activities	△349	△841	△492
現金及び現金同等物の増減額 Net Increase or Decrease	△675	1,500	+2,175
現金及び現金同等物の期首残高 Cash and Cash Equivalent at the beginning	2,427	1,722	} +1,500
現金及び現金同等物の期末残高 Cash and Cash Equivalent at the end	1,752	3,223	
減価償却費 Depreciation and Amortization	188	219	+31
設備投資額 Capital Expenditures	690	674	△15

(2) セグメント別実績 *Results by Segment*

	売上高 Revenues			営業利益 Operating Income		
	前年同期 Apr-Jun/2006	当第1四半期 Apr-Jun/2007	増減 Change	前年同期 Apr-Jun/2006	当第1四半期 Apr-Jun/2007	増減 Change
航空運送 Air Transportation	2,878	3,059	+181	174	121	△52
旅行 Travel	451	466	+15	3	1	△1
ホテル Hotels	162	-	△162	10	-	△10
その他 Others	459	477	+18	6	9	+3
消去 Eliminations	△499	△508	△8	△0	△1	△0
合計(連結) Total	3,452	3,496	+43	195	132	△63

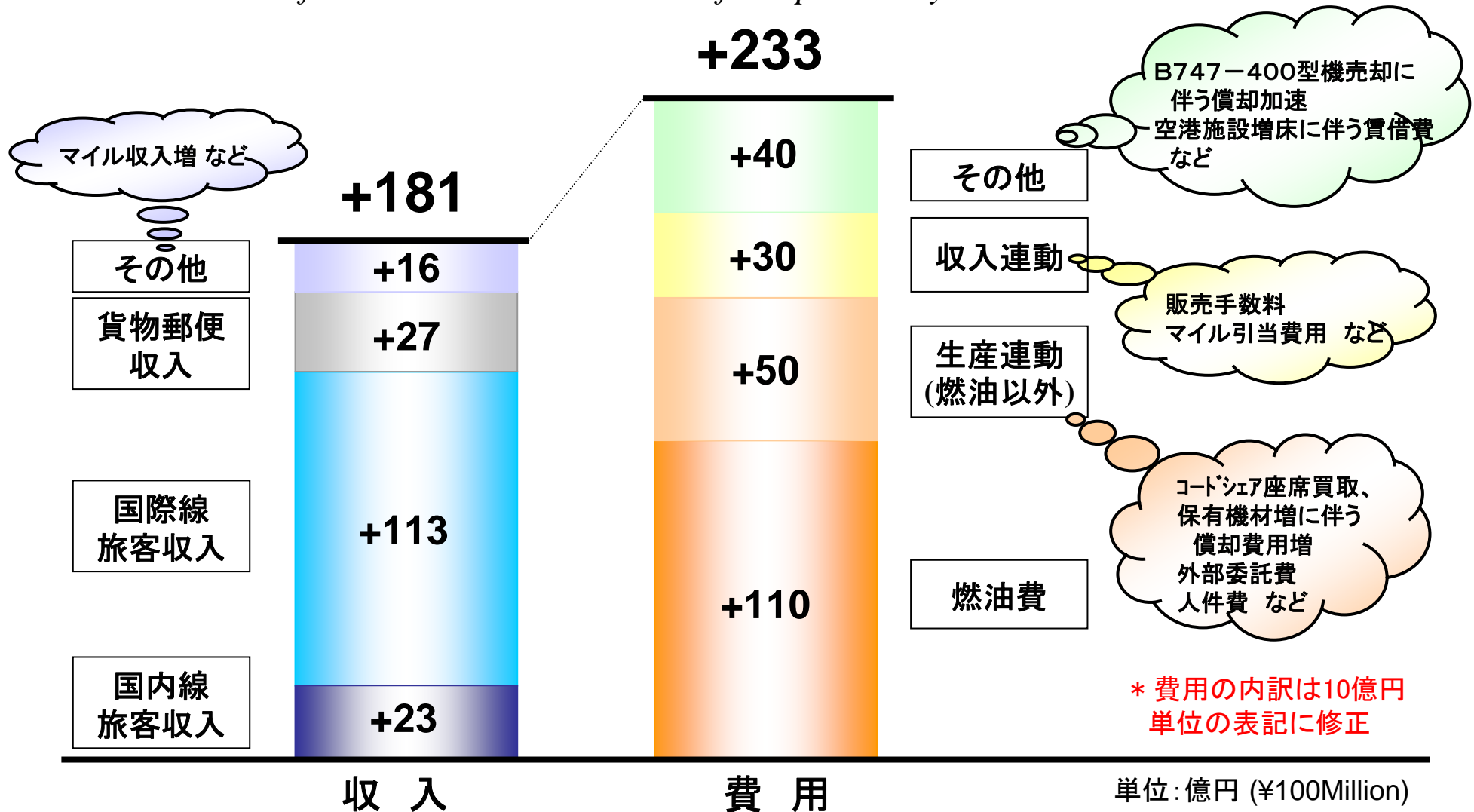
当年度の航空運送事業以外の代表的トピックス
 ▶ホテル関連子会社14社の株式の譲渡を実施。(6月)

(1) 航空運送事業 *Air Transportation Overall*

		前年同期 Apr-Jun/2006	当第1四半期 Apr-Jun/2007	増減 Change
営業収入 Operating Revenues	国内線旅客 Domestic Passengers	1,673	1,697	+23
	国際線旅客 International Passengers	650	763	+113
	貨物郵便 Cargo and Mail	241	268	+27
	その他 Others	312	329	+16
	合計 Total	2,878	3,059	+181
営業費用 Operating Expenses	燃油費及び燃料税 Fuel and Fuel Tax	498	610	+111
	空港使用料 Landing and Navigation Fees	256	259	+2
	航空機材賃借費 Aircraft Leasing Fees	215	212	△2
	減価償却費 Depreciation and Amortization	170	211	+40
	整備部品・外注費 Aircraft Maintenance	135	139	+3
	人件費 Personnel	570	587	+17
	販売手数料 Sales Commission	211	239	+27
	外部委託費 Contracts	192	200	+7
	その他 Others	453	477	+24
	合計 Total	2,704	2,937	+233
営業利益	営業利益 Operating Income	174	121	△52

(2) 収入・費用増減要因

Breakdown of revenue and cost deviation from previous year



Intentionally Blank

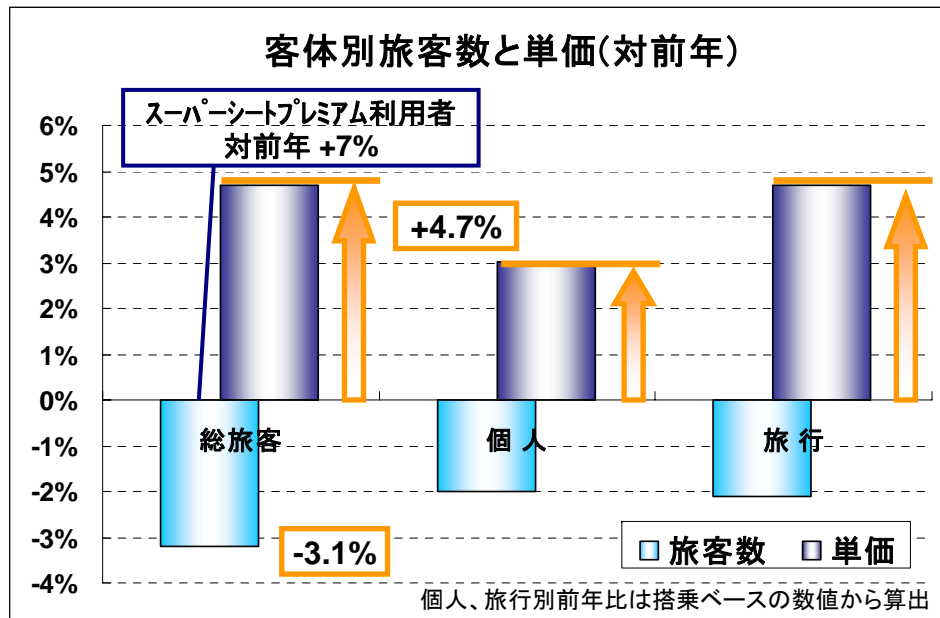
(3) 旅客事業 *Passenger Operations*

◇ 国内旅客 *Domestic Passengers*

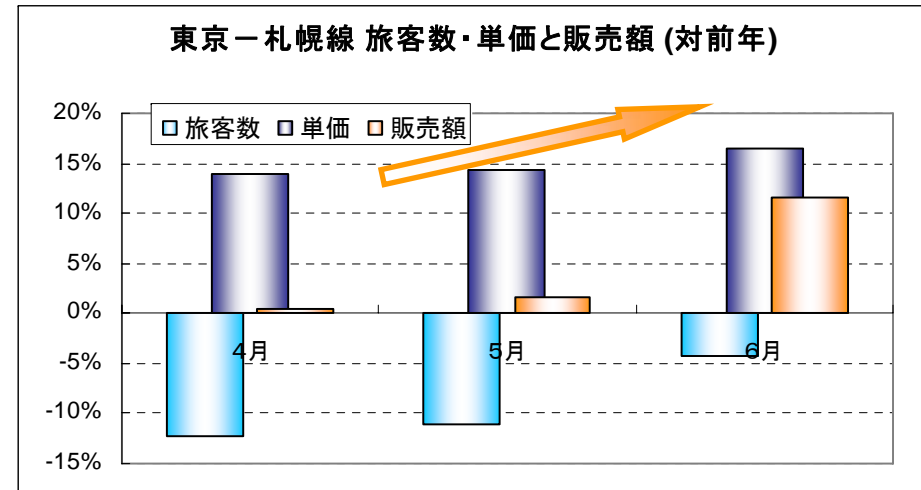
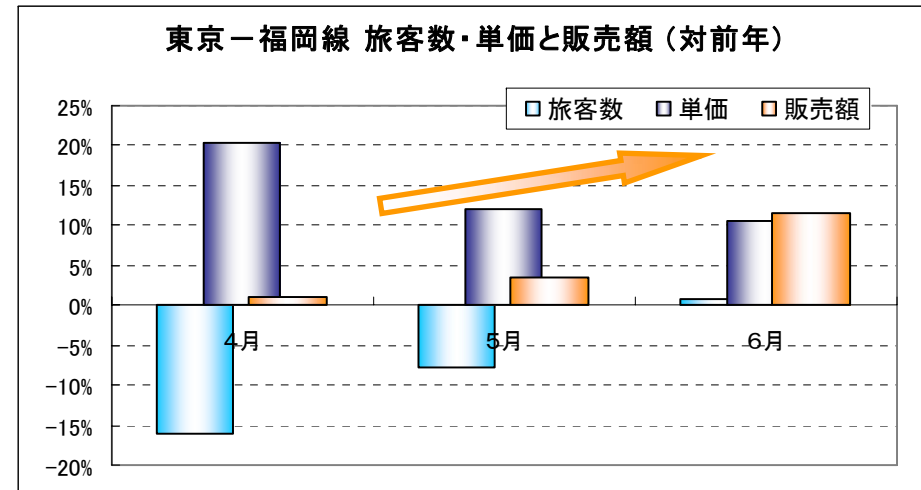
	前年同期 Apr-Jun/2006	当第1四半期 Apr-Jun/2007	前年比 % Y/Y
旅客数(千人) Passengers (thousands)	11,107	10,757	96.9%
座席キロ(百万) Available Seat Km (mil)	15,270	15,476	101.3%
旅客キロ(百万) Revenue Passenger Km (mil)	9,630	9,299	96.6%
座席利用率(%) Load Factor (%)	63.1	60.1	△3.0
旅客収入(億円) Passenger Revenues (¥100 mil)	1,673	1,697	101.4%
ユニットレベニュー(円) Unit Revenue (¥/ASK)	11.0	11.0	100.1%
イールド(円) Yield (¥/RPK)	17.4	18.3	105.0%
単価(円) Unit Price (¥)	15,070	15,782	104.7%

◇国内旅客動向 Trends of Domestic Passenger Operations

✓単価アップにより収入は増加



✓東京-札幌・福岡線の販売額は回復傾向に



当四半期の国内線旅客事業の代表的トピックス

- 運賃値上げを実施。(4月)
- 高島屋、ヤマダ電気との間でマイルージとポイントの相互交換サービスを開始。(4月)
- 羽田-北九州線においてスターフライヤーとのコードシェアを開始。(6月)

◇ 国際旅客

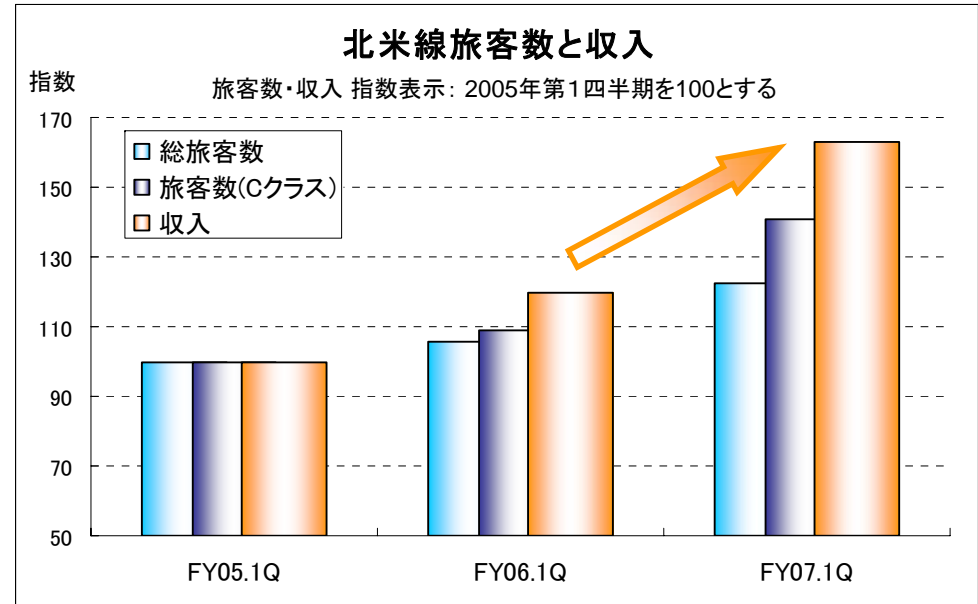
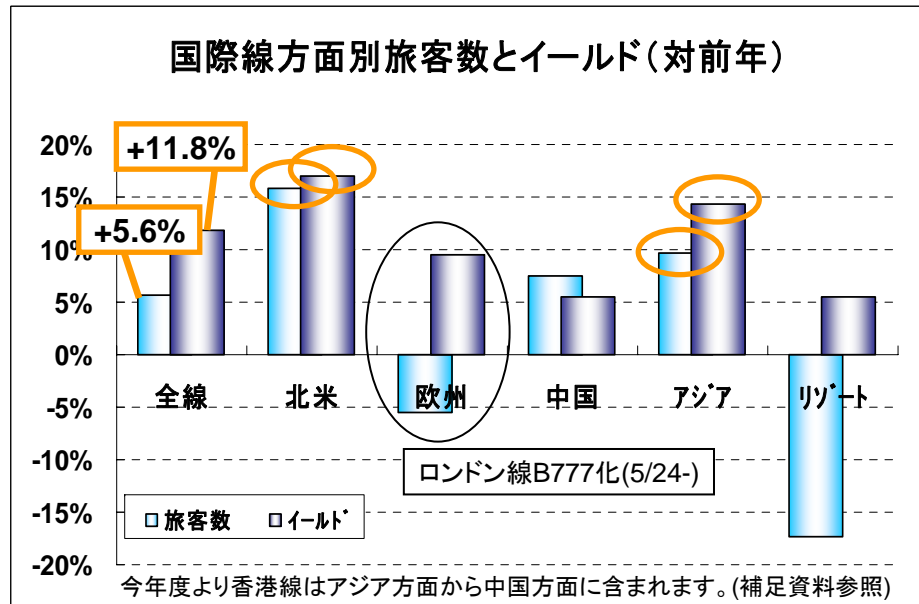
International Passengers

	前年同期 Apr-Jun/2006	当第1四半期 Apr-Jun/2007	前年比 % Y/Y
旅客数(千人) Passengers (thousands)	1,092	1,153	105.6%
座席キロ(百万) Available Seat Km (mil)	6,457	7,023	108.8%
旅客キロ(百万) Revenue Passenger Km (mil)	4,923	5,167	104.9%
座席利用率(%) Load Factor (%)	76.2	73.6	△2.6
旅客収入(億円) Passenger Revenues (¥100 mil)	650	763	117.4%
ユニットレベニュー(円) Unit Revenue (¥/ASK)	10.1	10.9	107.9%
イールド(円) Yield (¥/RPK)	13.2	14.8	111.8%
単価(円) Unit Price (¥)	59,618	66,242	111.1%

◇ 国際旅客動向 Trends of International Passenger Operations

✓ 北米、アジアが増収を牽引

✓ 北米ネットワーク充実による
ビジネス需要の獲得で増収



当四半期の国際線旅客事業の代表的トピックス

- 「燃油特別付加運賃」(燃油サーチャージ)の運賃額改定を実施。(4月、5月 航空券発券分より)
- 南アフリカ航空とのコードシェア開始。(4月)
- 「eチケット」を国内全路線まで利用範囲を拡大。(4月)
- 成田ー広州線をダブルデイリー化。(5月)
- 成田ーロンドン線にB777-300ER型機が就航開始。(5月)

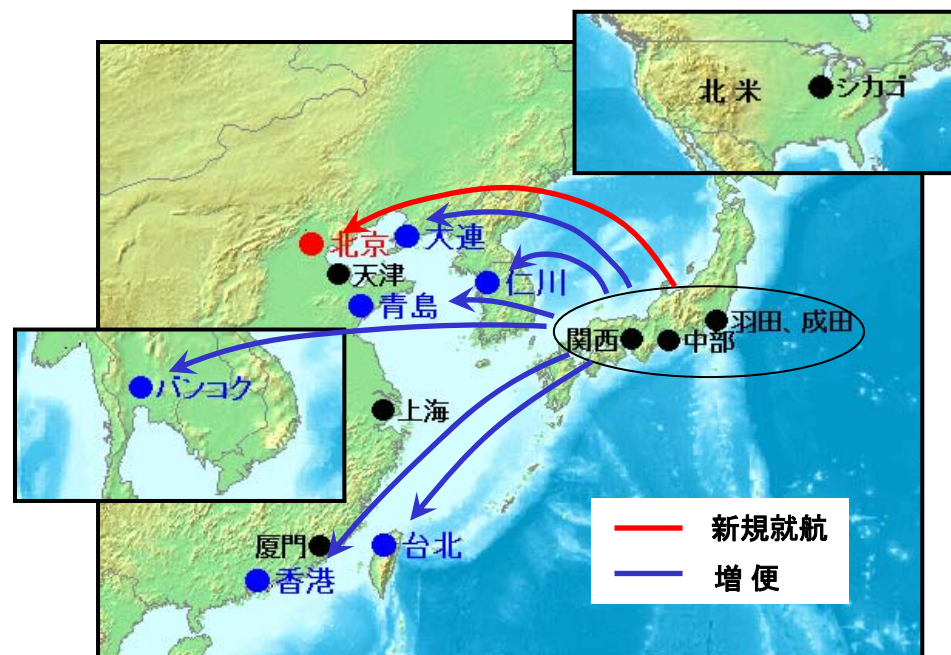
(4) 貨物事業 *Cargo Operations*

		前年同期 Apr-Jun/2006	当第1四半期 Apr-Jun/2007	前年比 % Y/Y
国内 Domestic Cargo	輸送重量 (トン) Cargo ton (tons)	107,689	108,071	100.4%
	有償貨物トンキロ (千トンキロ) Revenue Ton Km (thousands)	104,273	104,590	100.3%
	貨物収入 (億円) Cargo Revenues (¥100 millions)	73	73	100.5%
国際 International Cargo	輸送重量 (トン) Cargo ton (tons)	61,516	77,678	126.3%
	有償貨物トンキロ (千トンキロ) Revenue Ton Km (thousands)	282,296	380,105	134.6%
	貨物収入 (億円) Cargo Revenues (¥100 millions)	138	167	120.4%
貨物機 (内際) Freighter (Int/Dom)	提供貨物トンキロ (千トンキロ) Available Ton Km	88,412*	161,421	182.6%
	輸送重量 (トン) Cargo Ton (tons)	16,062	25,799	160.6%

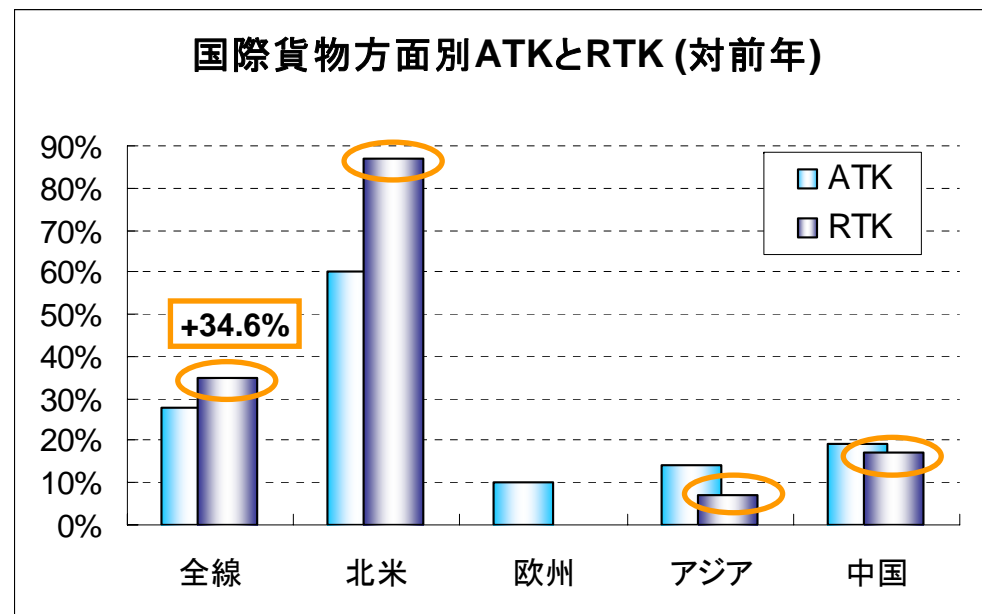
* 今年度より貨物機の提供貨物トンキロを算出するための搭載可能重量の変更を行っております。
前年度、計画前提の数値との比較のため、昨年度実績は今年度の算出方法に従って掲載しております。

◇貨物事業動向 Trends of Cargo Operations

✓貨物機6機体制による更なる路線拡充



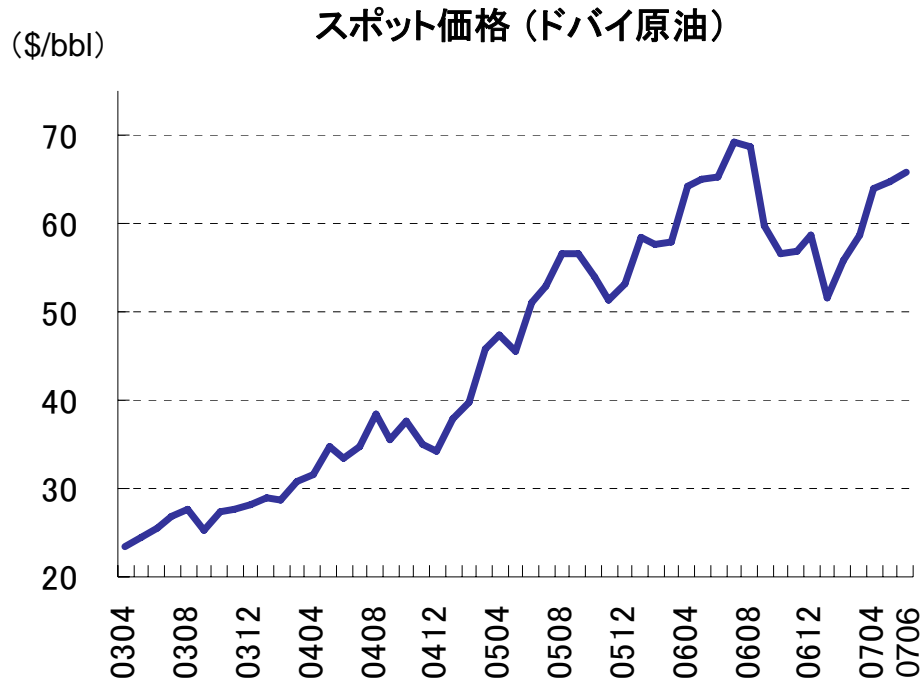
✓路線基盤拡大により
北米ーアジア・中国間の需要を獲得



当四半期の貨物事業の代表的トピックス

- 米国ABX Air社からのウェットリースによる貨物運航便の就航を開始。(5月)
- 海外新聞普及株式会社(OCS)と国際物流分野における共同ブランド商品「BEAM」を開発することに合意。(6月)

◇燃料・為替ヘッジ *Fuel and Currency Hedging*



原油/為替変動による影響 (ヘッジしない場合)

経常損益ベース(費用増)

- (1) 原油価格 +1ドル/バレルの変動(上昇): +24億円/年
- (2) 為替 1円/USDドルの変動(円安) : +13億円/年

燃油に関する単価ヘッジ

方針: 100%ヘッジ

(ただし、2007年度においては80%とする)

方法: 対象年度の3年前から四半期毎に約8%ずつをヘッジ。但し、2008年度分までは2年前から12%ずつをヘッジ。

	FY07	FY08	FY09
ヘッジ率	75%	50%	30%

(07/06末現在)

燃油に関する為替ヘッジ

・方針: 年間ドル支払額の80%

・方法: 対象年度の5年度前から開始。ドル総支払額の10%ずつを毎年ヘッジし、残り分を最終年度に実施。

	FY07	FY08	FY09
ヘッジ率	60%	40%	30%

(07/06末現在)

IV. 補足資料

Supplementary Reference



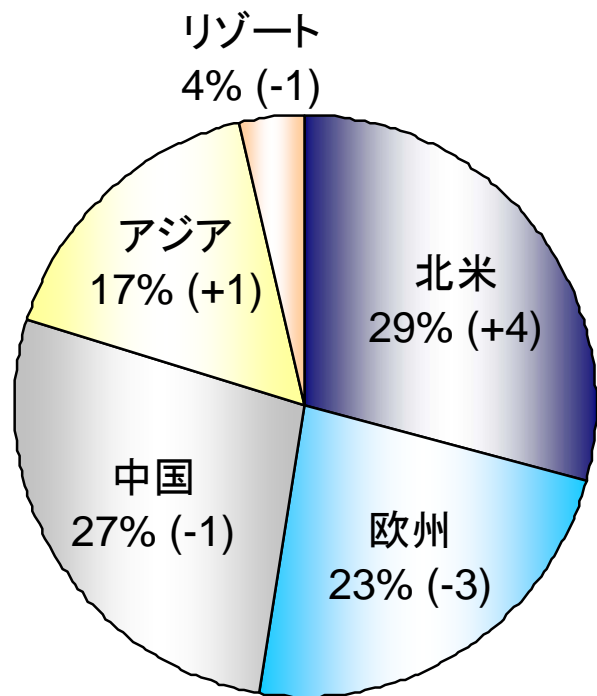
◇国際旅客方面別実績

※06、07年度比較において香港路線を中国方面に含んだ実績

新バージョン

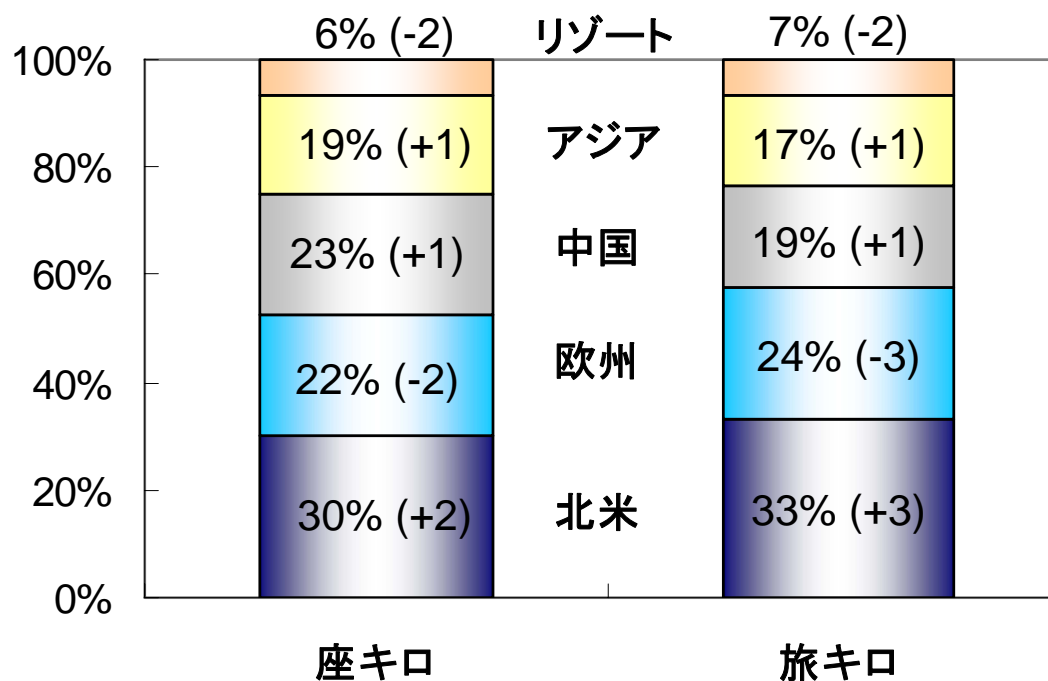
Breakdown of International Passenger Operations

旅客収入構成比



注) 括弧: 前年差

座キロ/旅キロ構成比



注) 括弧: 前年差

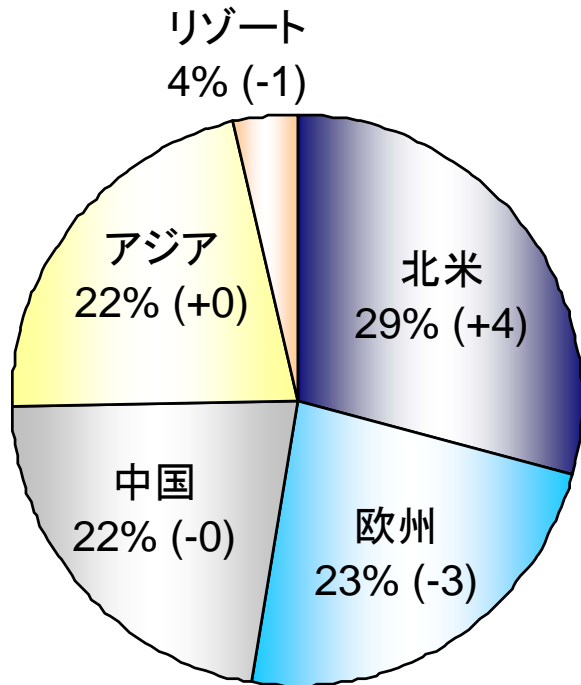
◇国際旅客方面別実績

※06、07年度比較において香港路線をアジア方面に含んだ実績

旧バージョン

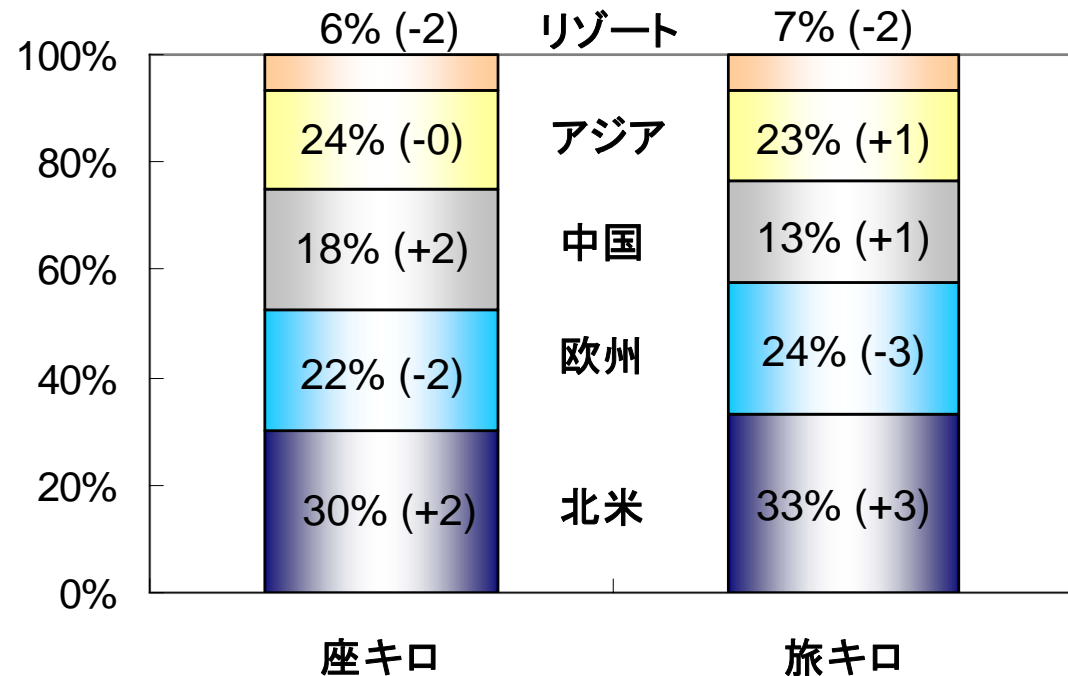
Breakdown of International Passenger Operations

旅客収入構成比



注) 括弧: 前年差

座キロ/旅キロ構成比



注) 括弧: 前年差

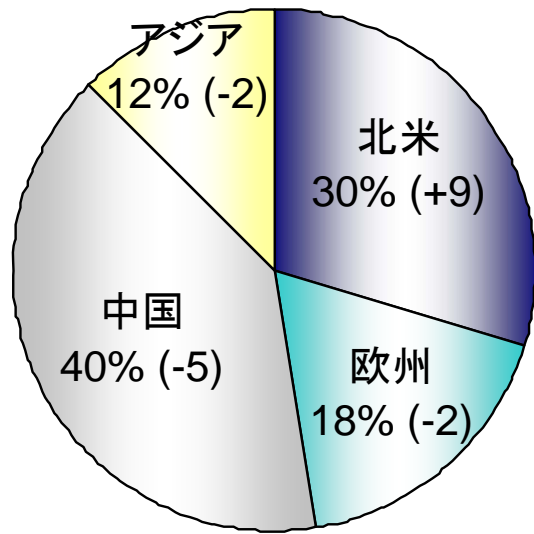
◇国際貨物方面別実績

※06、07年度比較において香港路線を中国方面に含んだ実績

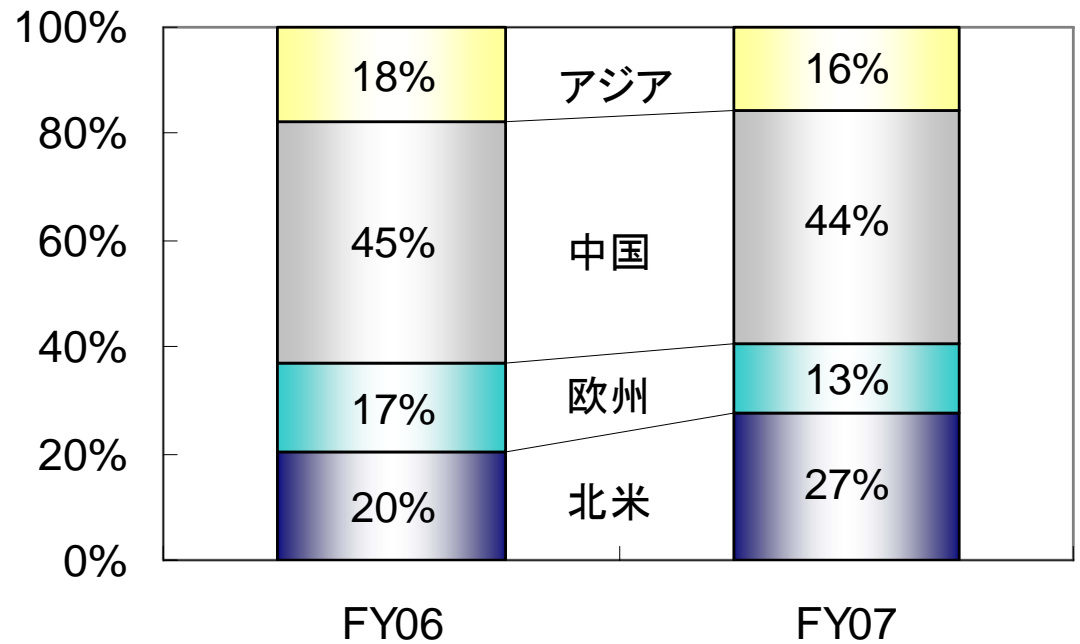
新バージョン

Breakdown of International Cargo Operations

収入構成比



重量構成比



注) 括弧: 前年差

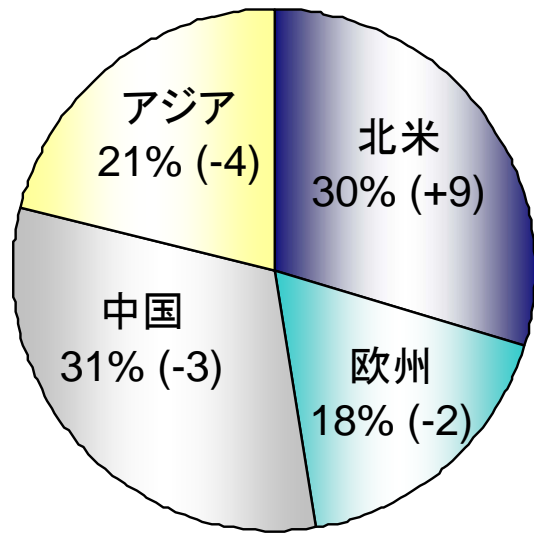
◇国際貨物方面別実績

※06、07年度比較において香港路線をアジア方面に含んだ実績

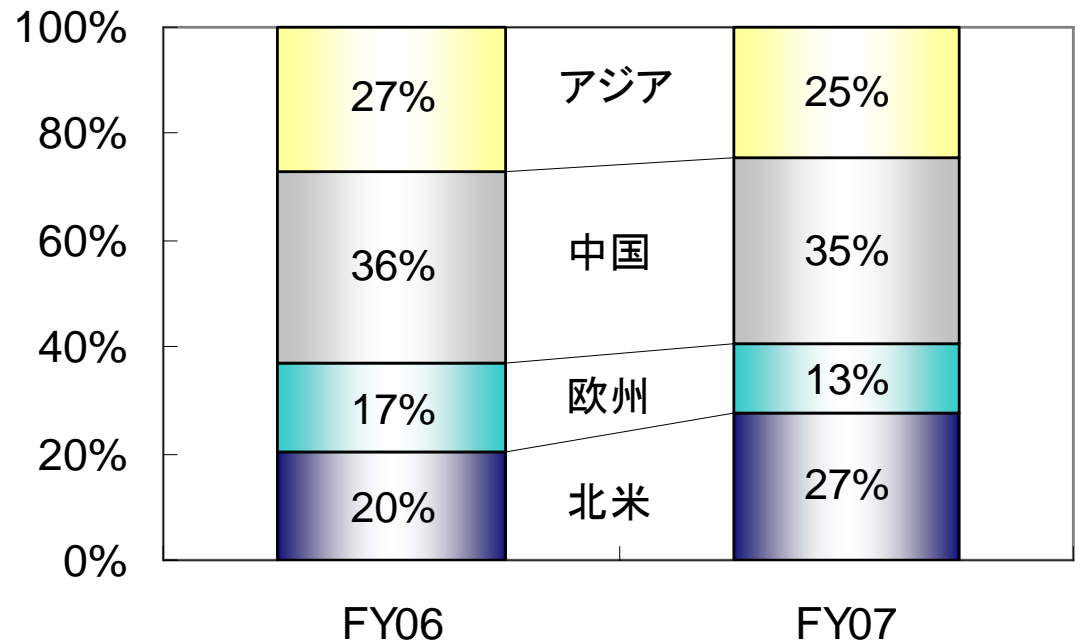
旧バージョン

Breakdown of International Cargo Operations

収入構成比



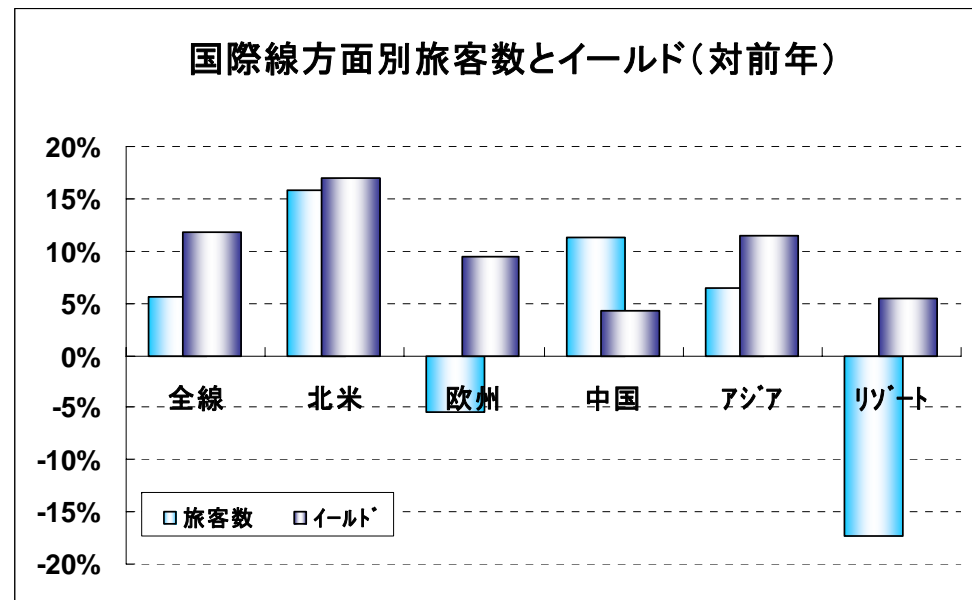
重量構成比



注) 括弧: 前年差

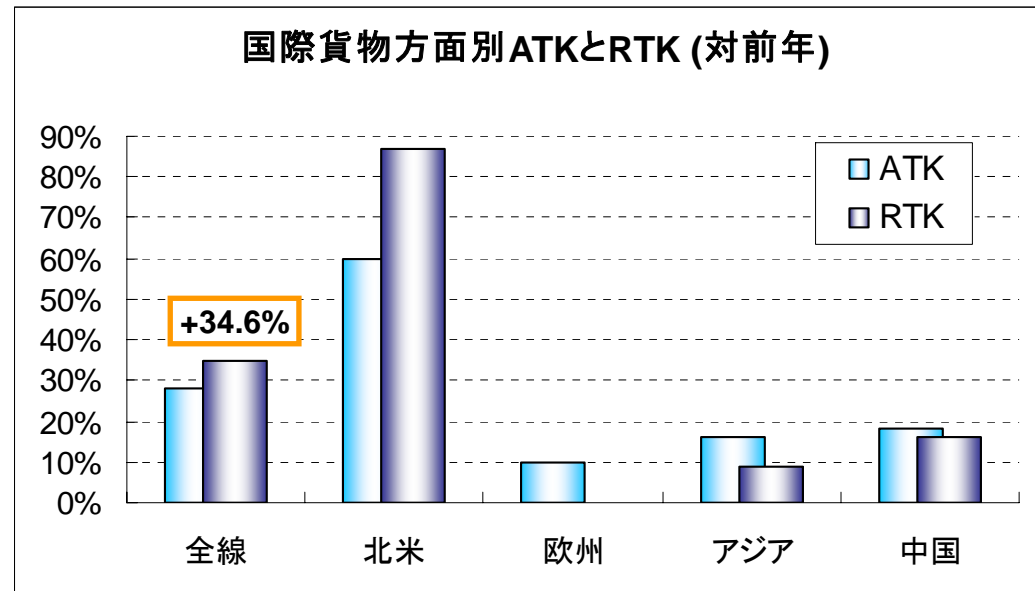
◇国際旅客方面別実績 ※06、07年度比較において香港路線をアジア方面に含んだ実績
Breakdown of International Passenger Operations

旧バージョン



◇国際貨物方面別実績 ※06、07年度比較において香港路線をアジア方面に含んだ実績
Breakdown of International Cargo Operations

旧バージョン



ご清聴ありがとうございました。

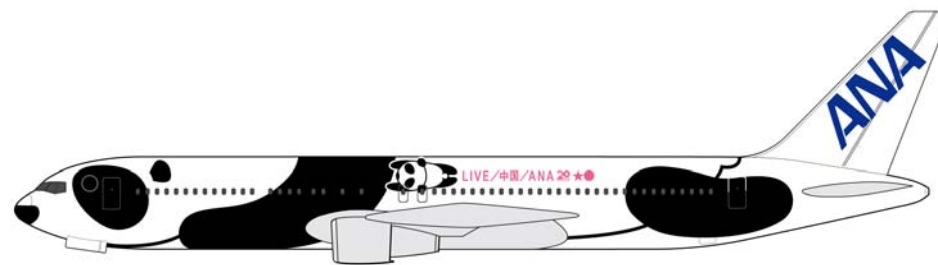
Thank you.

当資料はホームページでもご覧いただけます。

This material is available on our website.

<http://www.ana.co.jp>

[日本語] IR情報 → IR資料室



中国線就航20周年特別塗装機『FLY! パンダ』

全日本空輸株式会社 IR推進室
電話番号 03-6735-1030(代)